

さやえんどう (マメ科)

【令和7年1月1日現在の農薬登録内容】2025版

病害虫名	農薬名	区分	使用濃度	収穫前日数	使用回数	備考
土 壌 施 用						
アブラムシ類	アドマイヤー1粒剤		2g/植穴 但し600g/aまで	定植時	1回	植穴土壌混和
薬 剤 散 布						
うどんこ病	トリフミン水和剤		3000～5000倍	前日	5回	治療剤
	ハチハチフロアブル	劇	1000倍	前日	2回	ナモグリバエ同時防除
アブラムシ類	モスピラン顆粒水溶剤	劇	4000倍	前日	3回	
	スタークル顆粒水溶剤		2000倍	前日	2回	
ハスモンヨトウ	アフアーム乳剤		2000倍	3日	2回	

すいか (ウリ科)

病害虫名	農薬名	区分	使用濃度	収穫前日数	使用回数	備考
土 壌 施 用						
アブラムシ類	ダントツ粒剤		1～2g/株	定植時	1回	植穴処理土壌混和
薬 剤 散 布						
つる枯病・炭疽病	ジマンダイセン水和剤		400～600倍	7日	7回	予防剤
	スコア顆粒水和剤		2000倍	前日	3回	治療剤
アブラムシ類	アーデント水和剤		1000倍	前日	5回	
	モスピラン顆粒水溶剤	劇	2000～4000倍	3日	3回	
アザミウマ類	アフアーム乳剤		1000～2000倍	前日	3回	

そらまめ(未成熟) (マメ科)

病害虫名	農薬名	区分	使用濃度	収穫前日数	使用回数	備考
薬 剤 散 布						
アブラムシ類	モスピラン顆粒水溶剤	劇	4000倍	7日	3回	
	スミチオン乳剤		1000～2000倍	3日	3回	
	アディオオン乳剤		3000倍	7日	3回	
ハモグリバエ類						

「農薬の使用は、使用基準を確認し、周りの他作物に農薬が飛散しないようにすること」